

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月28日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4185 URL http://www.jsr.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小柴 満信  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小島 昌尚 TEL 03-6218-3517  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	96,069	4.7	8,131	△12.7	8,372	△23.8	5,373	△21.9
26年3月期第1四半期	91,727	△1.3	9,313	6.8	10,990	9.0	6,882	1.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 4,915百万円 (△51.9%) 26年3月期第1四半期 10,211百万円 (115.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	22.86	22.81
26年3月期第1四半期	28.99	28.92

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	489,617	338,385	67.9	1,415.79
26年3月期	501,319	337,259	66.1	1,409.06

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 332,668百万円 26年3月期 331,283百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	200,000	5.9	17,000	△4.7	17,500	△14.1	12,000	△8.7	51.04
通期	410,000	4.0	38,000	5.4	39,000	△1.6	28,000	11.2	119.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は添付資料P.4〔2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用〕をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は添付資料P.4〔2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示〕をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	237,973,205株	26年3月期	237,973,205株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	3,003,273株	26年3月期	2,862,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	235,005,125株	26年3月期1Q	237,457,519株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

平成26年7月28日（月）に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から同年6月30日）の概況

当社グループの主要な需要業界におきましては、自動車生産は中国や北米での需要が堅調であったほか、日本でも前年を上回って推移しました。自動車タイヤ生産は、日本では新車用タイヤ生産は堅調であったものの、履き替え用タイヤ生産は前年を下回って推移しました。

半導体市場は、スマートフォンや多機能携帯端末向け需要にPC買い替え需要も加わりに好調に推移しました。フラットパネル・ディスプレイの生産は、大型TV向け需要の拡大とモバイル向けの好調継続により、前年同期の水準を上回って推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、石油化学系事業では、技術的に優位性を持つ製品の能力増強とグローバルな拡販を展開し、情報電子材料を中心とした多角化事業では、半導体最先端技術に対応した素材への注力、モバイル向けディスプレイ材料の拡販等を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は960億69百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益81億31百万円（同12.7%減）、経常利益83億72百万円（同23.8%減）、四半期純利益53億73百万円（同21.9%減）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高						
エラストマー事業	47,076	51.3%	46,221	48.1%	△854	△1.8%
合成樹脂事業	12,698	13.9%	13,244	13.8%	546	4.3%
多角化事業	31,952	34.8%	36,604	38.1%	4,651	14.6%
合計	91,727	100.0%	96,069	100.0%	4,342	4.7%
国内売上高	45,121	49.2%	44,324	46.1%	△797	△1.8%
海外売上高	46,605	50.8%	51,745	53.9%	5,139	11.0%
区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	比率
営業利益	9,313	10.2%	8,131	8.5%	△1,182	△12.7%
経常利益	10,990	12.0%	8,372	8.7%	△2,617	△23.8%
四半期純利益	6,882	7.5%	5,373	5.6%	△1,509	△21.9%

①エラストマー事業部門

合成ゴムの販売につきましては、国内は履き替え用タイヤを中心に自動車タイヤ生産が前年を下回ったため、数量は前年同期を下回りました。海外向け販売数量は前年同期並みでしたが、市況低迷により売上高は減少しました。

利益は、販売数量の減少に加え、定期修繕費用などのコスト増もあり、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比1.8%減の462億21百万円、営業利益は前年同期比52.8%減の22億23百万円となりました。

②合成樹脂事業部門

合成樹脂の販売につきましては、アミューズメント向け、政情不安の影響を受けたタイ向けで需要が減少しましたが、中国向け需要が回復したことなどから、売上高は前年同期を上回りました。

利益は、原料価格上昇などにより採算が悪化し、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比4.3%増の132億44百万円、営業利益は前年同期比52.5%減の4億30百万円となりました。

③多角化事業部門

半導体材料の販売につきましては、スマートフォン・多機能携帯端末向け需要やPC買い替え需要が堅調に推移したことに加えて、当社シェアが高い最先端の20nm(ナノメートル)世代の量産が大手顧客で本格化したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

ディスプレイ材料の販売につきましては、モバイル向け需要や大型TV向け需要の堅調により、パネルメーカーの生産が前年同期を上回る水準で推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

多角化事業部門全体の利益は、半導体材料やディスプレイ材料の販売が堅調であったことにより、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は前年同期比14.6%増の366億4百万円、営業利益は前年同期比48.2%増の54億76百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月23日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法について給付算定式基準を適用し、割引率の算定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,498百万円減少し、利益剰余金が964百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,390	30,986
受取手形及び売掛金(純額)	87,613	81,233
有価証券	81,004	83,497
たな卸資産	78,689	81,040
その他	45,804	34,248
流動資産合計	326,504	311,006
固定資産		
有形固定資産	95,630	98,035
無形固定資産	7,250	7,396
投資その他の資産		
投資有価証券	60,952	62,033
その他	10,982	11,146
投資その他の資産合計	71,935	73,179
固定資産合計	174,815	178,610
資産合計	501,319	489,617
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,333	75,088
短期借入金	15,578	12,300
その他	31,529	31,352
流動負債合計	132,442	118,742
固定負債		
長期借入金	11,069	12,887
退職給付に係る負債	15,242	13,903
その他	5,305	5,699
固定負債合計	31,617	32,490
負債合計	164,059	151,232
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	269,620	271,310
自己株式	△5,087	△5,355
株主資本合計	313,033	314,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,467	11,778
為替換算調整勘定	6,971	6,576
退職給付に係る調整累計額	△188	△141
その他の包括利益累計額合計	18,250	18,213
新株予約権	792	814
少数株主持分	5,183	4,902
純資産合計	337,259	338,385
負債純資産合計	501,319	489,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	91,727	96,069
売上原価	67,191	71,685
売上総利益	24,535	24,384
販売費及び一般管理費	15,222	16,253
営業利益	9,313	8,131
営業外収益		
受取配当金	168	150
為替差益	813	-
その他	938	590
営業外収益合計	1,920	741
営業外費用		
為替差損	-	164
その他	243	335
営業外費用合計	243	500
経常利益	10,990	8,372
特別損失		
投資有価証券評価損	145	-
特別損失合計	145	-
税金等調整前四半期純利益	10,844	8,372
法人税等	4,243	3,257
少数株主損益調整前四半期純利益	6,601	5,115
少数株主損失(△)	△281	△257
四半期純利益	6,882	5,373



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,601	5,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,466	309
為替換算調整勘定	1,538	△30
退職給付に係る調整額	-	47
持分法適用会社に対する持分相当額	605	△526
その他の包括利益合計	3,610	△200
四半期包括利益	10,211	4,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,490	5,262
少数株主に係る四半期包括利益	△279	△347

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,076	12,698	31,952	91,727	—	91,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,043	—	—	1,043	△1,043	—
計	48,119	12,698	31,952	92,770	△1,043	91,727
セグメント利益(営業利益)	4,710	907	3,695	9,313	—	9,313

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,221	13,244	36,604	96,069	—	96,069
セグメント間の内部売上高 又は振替高	751	—	—	751	△751	—
計	46,972	13,244	36,604	96,821	△751	96,069
セグメント利益(営業利益)	2,223	430	5,476	8,131	—	8,131

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。